

岩手山の火山活動解説資料（平成29年11月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図1～6、図7-①、図8-①）

柏台に設置している監視カメラによる観測では、黒倉山山頂の噴気は20m以下で経過し、岩手山山頂と大地獄谷の噴気は確認されず、噴気活動は低調に経過しました。黒倉山に設置している監視カメラによる観測では、大地獄谷で弱い噴気が認めされました。

10日に岩手県の協力により実施した上空からの観測では、岩手山山頂付近、黒倉山山頂、黒倉山東側崖面、西小沢及び大地獄谷の噴気や融雪域の状況に特段の変化は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図7-②～④、図8-②）

火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図9、図11）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成29年12月分）は平成30年1月12日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」及び「電子地形図（タイル）」を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

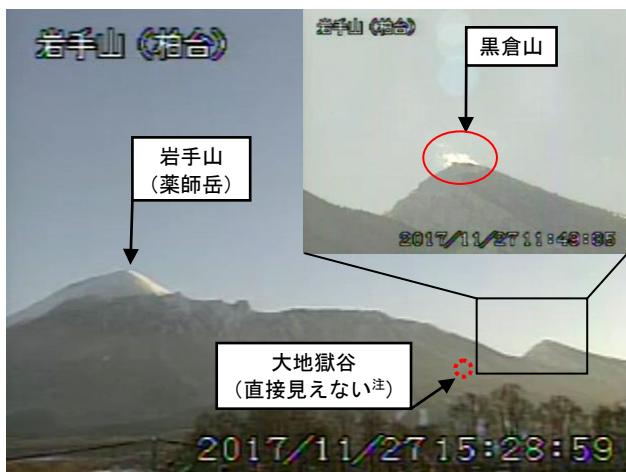


図1 岩手山 黒倉山の噴気の状況
(11月27日)

- ・柏台（黒倉山山頂の北約8km）に設置している監視カメラの映像です。
 - ・実線赤丸で囲んだ部分が、黒倉山山頂の白色噴気で高さ20mです。
- 注) 大地獄谷からの噴気は、高さ200m以上のときに柏台監視カメラで観測されます。点線赤丸が大地獄谷の位置を示します。



図2 岩手山 黒倉山監視カメラからの状況
(11月6日)

- ・黒倉山（大地獄谷の西約500m）に設置している監視カメラの映像です。
- ・点線赤丸で囲んだ部分が、大地獄谷の弱い噴気です。

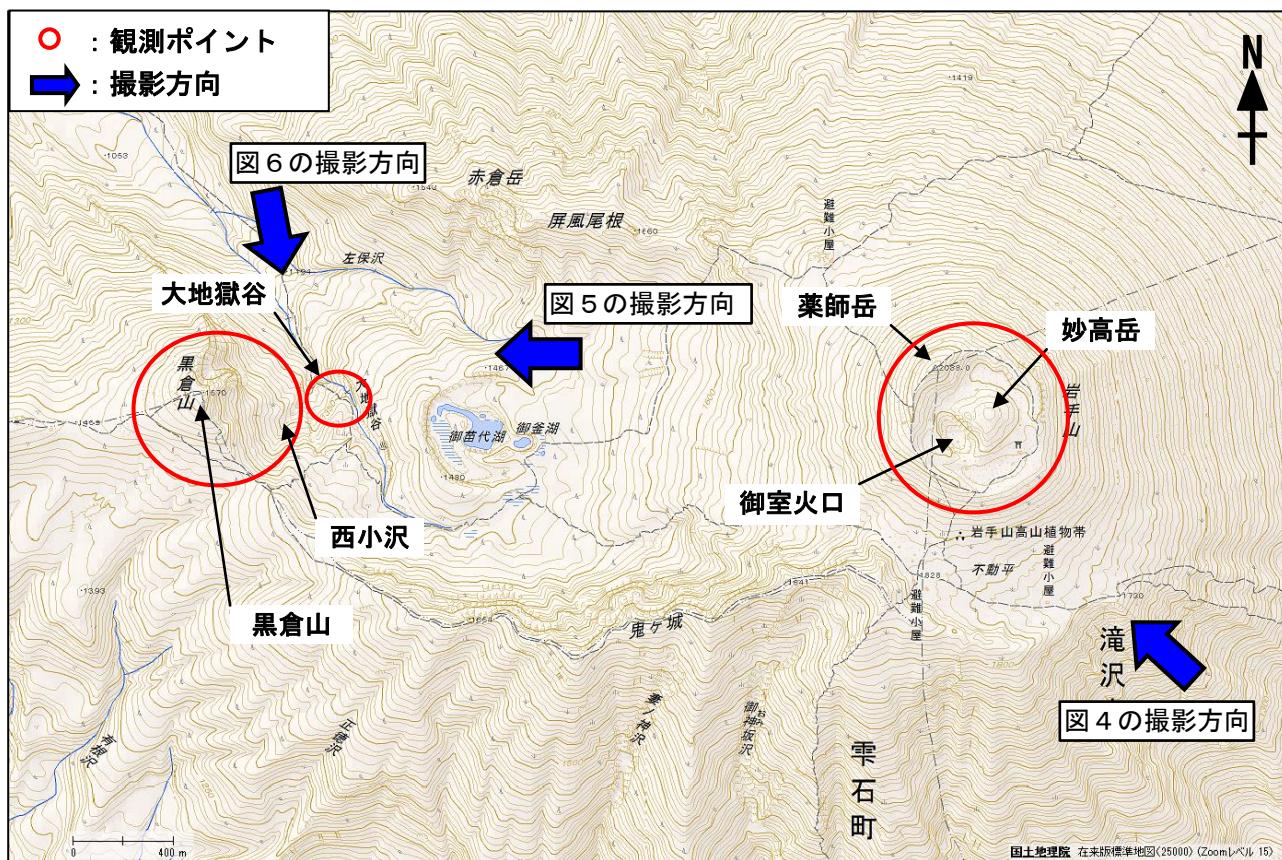
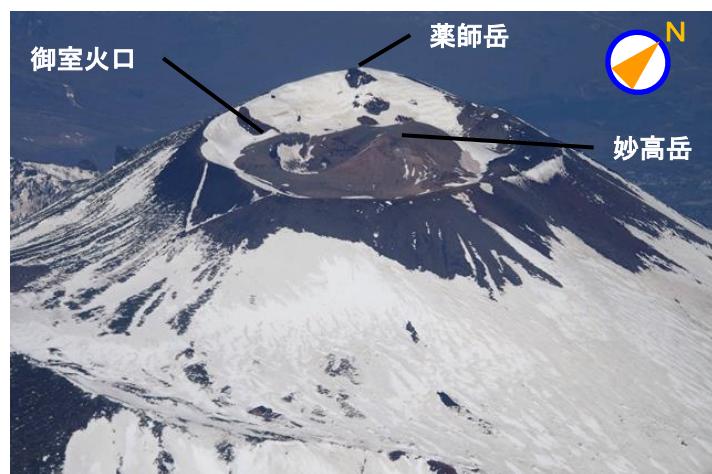


図3 岩手山 上空からの写真的撮影方向



2017年11月10日14時03分



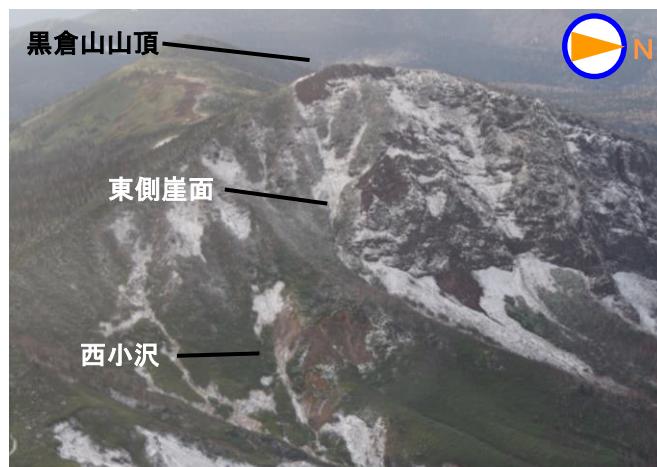
2017年4月25日10時49分



2016年12月12日11時43分

図4 岩手山 上空からの岩手山山頂付近の状況

- ・噴気は確認されませんでした。
- ・2017年11月10日及び2017年4月25日は岩手県の協力により撮影しました。2016年12月12日は陸上自衛隊の協力により撮影しました。



2017年11月10日13時53分



2017年4月25日10時40分



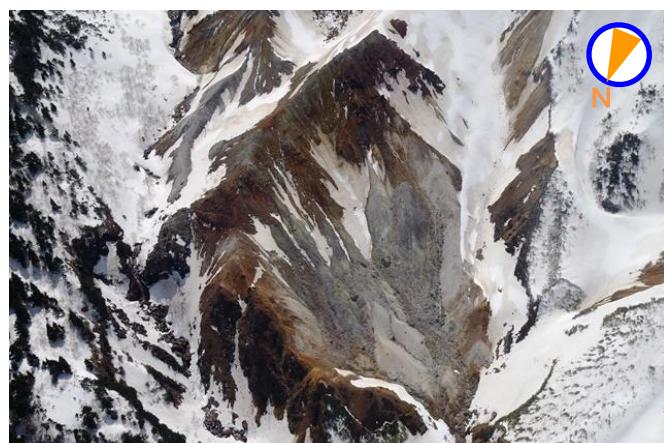
2016年8月24日14時24分

図5 岩手山 上空からの黒倉山山頂、黒倉山東側崖面及び西小沢の状況

- ・黒倉山山頂で弱い噴気を確認しました。噴気や融雪域の状況に特段の変化は認められませんでした。
- ・岩手県の協力により撮影しました。



2017年11月10日13時55分



2017年4月25日10時41分



2016年8月24日14時22分

図6 岩手山 上空からの大地獄谷の状況

- ・弱い噴気を確認しました。噴気や融雪域の状況に特段の変化は認められませんでした。
- ・岩手県の協力により撮影しました。

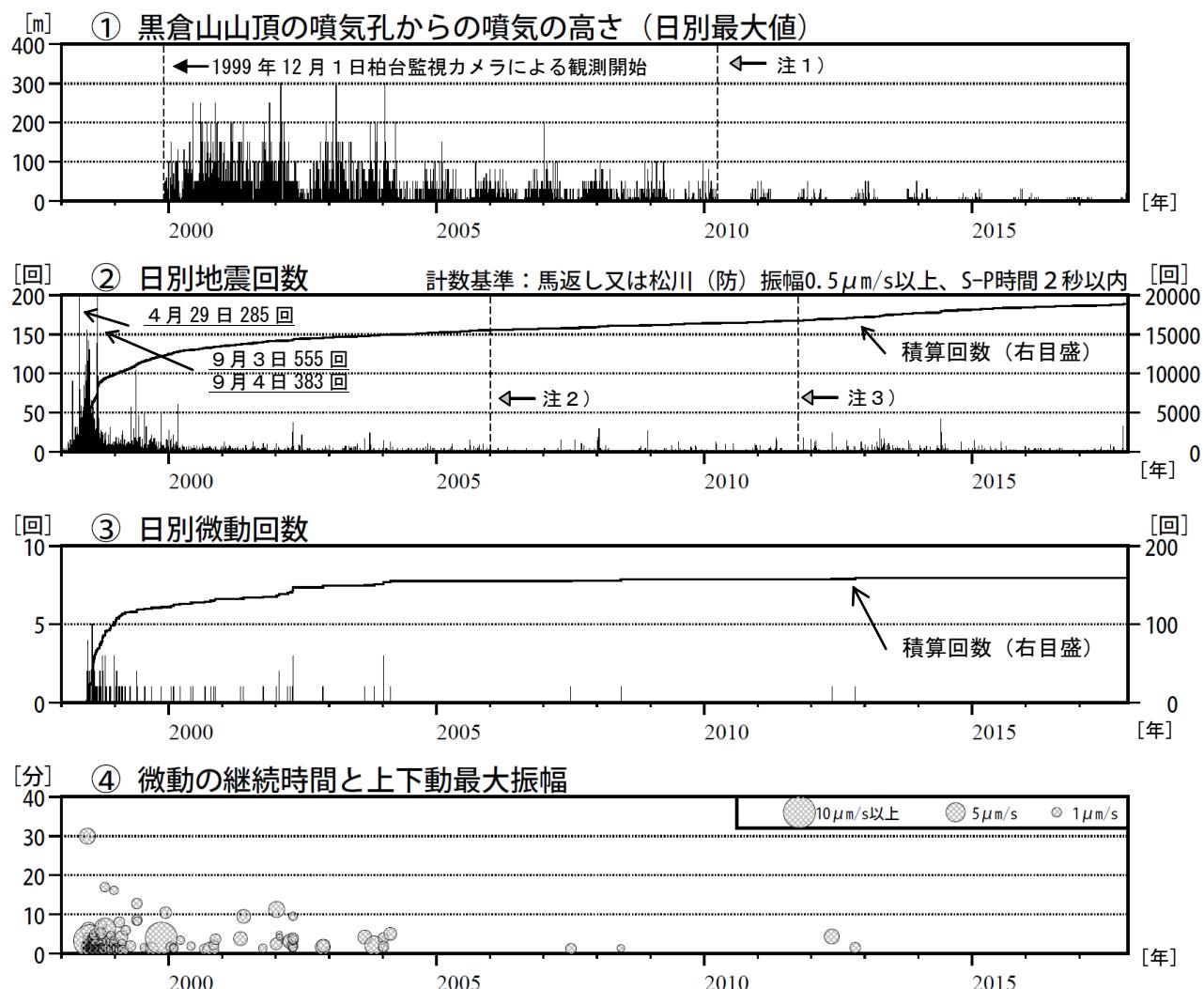


図 7 岩手山 火山活動経過図（1998 年 1 月～2017 年 11 月）

- ①注 1) 2010 年 3 月までは黒倉山のみの観測値を、2010 年 4 月 1 日以降は岩手山全体の観測値を示しています。
- ②～④基準観測点の変更は次のとおりです。
 - 観測開始 1998 年 1 月 1 日～東北大学松川観測点
 - 注 2) 2006 年 1 月 1 日～焼切沢観測点
 - 注 3) 2011 年 10 月 1 日～馬返し観測点及び防災科学技術研究所松川観測点
- ②2000 年 1 月以降は滝ノ上付近の地震など山体以外の地震を除外した回数です。
(1998 年から 1999 年までは滝ノ上付近の地震など山体以外の地震を含みます)

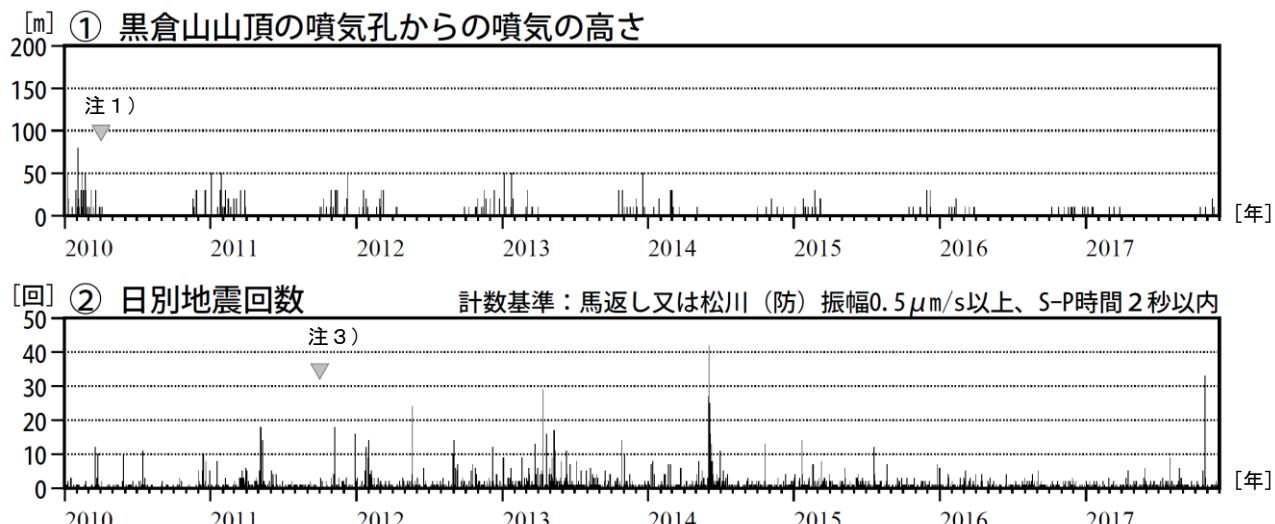
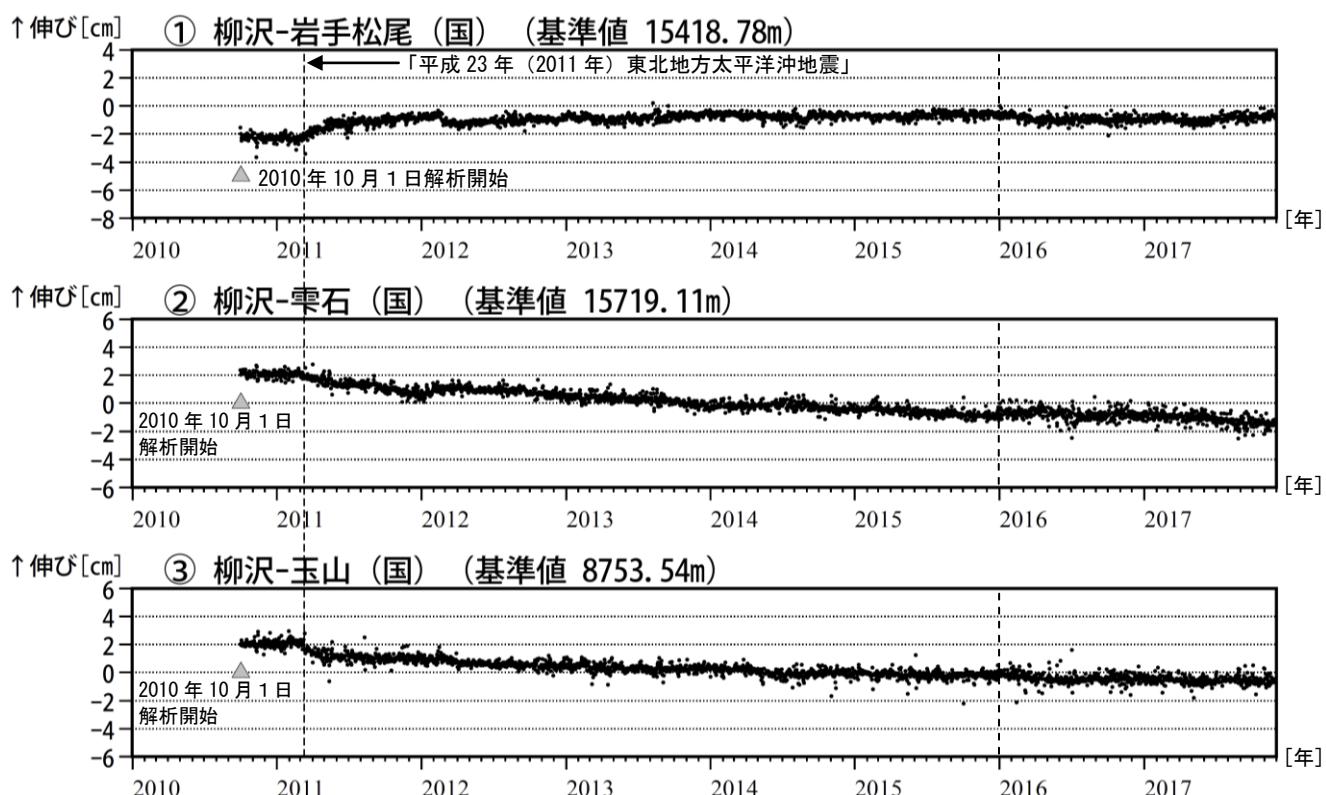


図8 岩手山 噴気の高さ及び日別地震回数（2010年1月～2017年11月）

- ・基準観測点の変更は図7に同じです。

図9 岩手山 GNSS¹⁾ 基線長変化図（2010年10月～2017年11月）

- ・「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
 - ・①～③は図 11 の GNSS 基線①～③に対応しています。
 - ・各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。
 - ・（国）は国土地理院の観測点を示します。
 - ・2016 年 1 月以降のデータについては、解析方法を変更しています。
- 1) GNSS とは Global Navigation Satellite Systems の略称で、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示します。

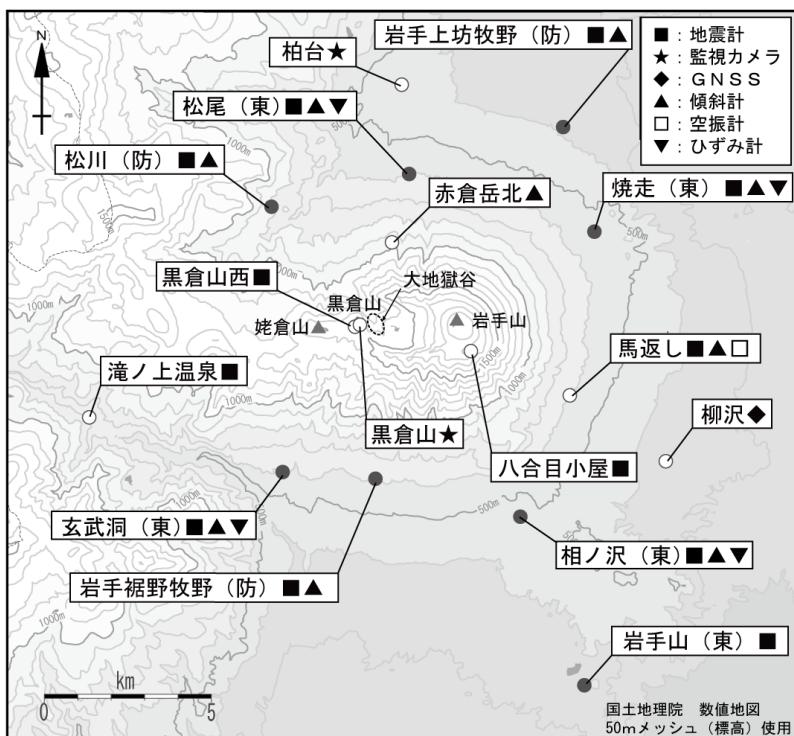


図 10 岩手山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(東) : 東北大学 (防) : 防災科学技術研究所

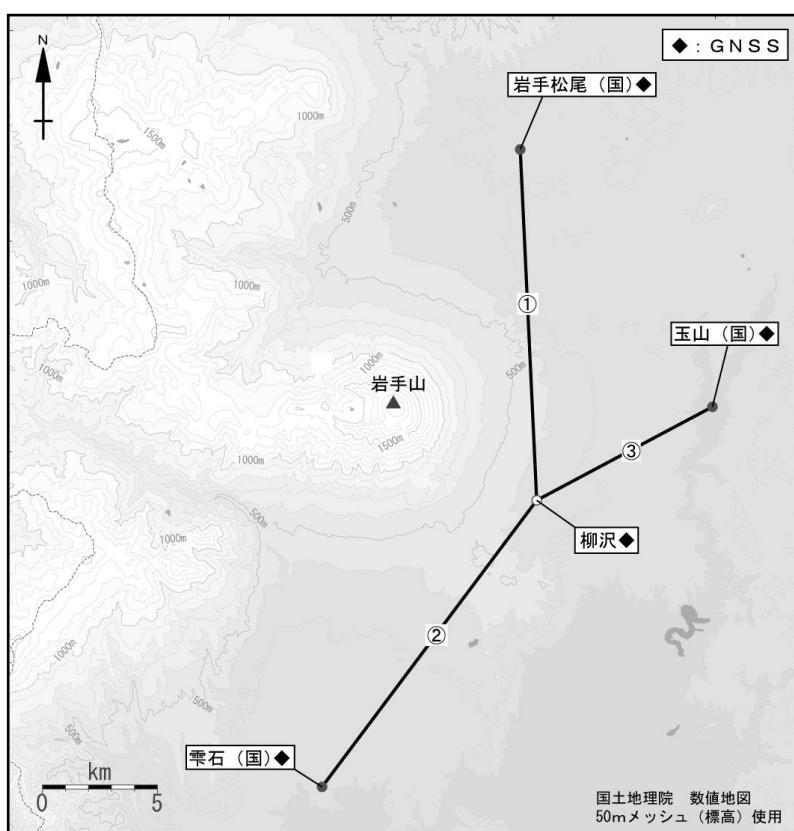


図 11 岩手山 GNSS 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国) : 国土地理院